



災害ケースマネジメントに関する取組事例集（令和4年3月公表）概要

- 災害ケースマネジメントは、被災者が抱える多様な課題を解決するため、一人ひとりの被災者の状況を丁寧に伺い、関係者が連携して必要な支援を行う取組。
- 自治体の中には、既に災害ケースマネジメントを実践しているところもあるが、全国的な取組状況は十分に共有されていないため、今後、この取組が全国的に広がるよう、先進的な取組を進めている自治体の好事例を収集・分析した取組事例集を作成。



個別訪問の様子
(鳥取県：平成28年鳥取県中部地震)



関係者による情報共有会議
(大町町：令和3年8月の大雨)

取組事例集の目次

- はじめに
- 災害ケースマネジメントの取組状況
 - アンケート調査概要
 - 都道府県調査結果
 - 市区町村調査結果
- 災害ケースマネジメントに関する取組事例
 - 総論
 - ・災害ケースマネジメントに取り組んだ経緯・背景、取組概要
 - ・災害ケースマネジメントを実施したことによる効果
 - ・災害ケースマネジメントを実施してみたの反省点・改善点
 - ・今後の展望
 - 各論
 - ・災害ケースマネジメントの実施体制
 - ・災害ケースマネジメントの支援対象者・把握方法、支援の実施方法
 - ・災害フェーズ・時系列ごとの取組内容
 - ・災害ケースマネジメントの実施に当たっての関係者での情報共有方法
 - ・被災者台帳等の活用・共有の状況
 - ・個別ケースの事例
 - ・災害ケースマネジメントの実施に当たって活用したツール
- おわりに
 - 取組状況等の調査を踏まえた課題
 - 今後の取組の方向性
 - 謝辞

紹介事例の概要

※原則、発災順に掲載

仙台市（宮城県）	東日本大震災（2011年3月11日）
東日本大震災での被害を踏まえ、市が「被災者生活再建推進プログラム」を策定し、応急仮設住宅への個別訪問による見守り支援等を実施して生活再建を進めた、我が国における先駆的な事例。	
盛岡市（岩手県）	東日本大震災（2011年3月11日）
東日本大震災による津波被害が大きかった沿岸部等から盛岡市に避難してきた広域避難者を対象として、専門の支援拠点を設け、相談窓口の設置や個別訪問等を行った事例。	
岩泉町（岩手県）	平成28年台風第10号（2016年8月30日）
民間団体が中心となって設置した被災者の相談窓口を、町の事業として位置付けて定期的な事業とするとともに、応急仮設住宅の入居者への個別訪問を行うなど、官民が連携して体制を構築し支援を行った事例。	
鳥取県	平成28年鳥取県中部地震（2016年10月21日）
発災後1年半が経過しても、家屋修繕が進まない世帯が一定程度残っていたことなどを踏まえ、県の条例に関連規定を創設し、専門の支援チームを設けるなど、県主導により市町や社会福祉協議会と連携して、個別訪問や相談支援等を行った事例。	
倉敷市真備地区（岡山県）	平成30年7月豪雨（2018年7月7日）
倉敷市真備支え合いセンター（運営：市社会福祉協議会）を設置し、岡山県くらし復興サポートセンター（県の後方支援組織）とも連携しながら、倉敷市外へ避難・転居した世帯も含めて個別訪問や見守り相談支援等を行った事例。	
大洲市（愛媛県）	平成30年7月豪雨（2018年7月7日）
県主導により、市に地域支え合いセンター（運営：市社会福祉協議会）が設置され、当該センターによる個別訪問や相談支援等を行ったほか、県の地域支え合いセンターを含めた多様な支援関係者が参画する連携会議等を通して情報共有や連携が図られた事例。	
厚真町（北海道）	平成30年北海道胆振東部地震（2018年9月6日）
生活支援相談員（町社会福祉協議会）を中心として全戸訪問を実施するとともに、被災者の支援ニーズにあわせて、町独自で住まいの再建に係る支援制度等を創設して支援を行った事例。	
大町町（佐賀県）	令和3年8月の大雨（2021年8月14日）
2年前の水害を契機に、関係者による連携会議をはじめとした被災者支援の体制が構築されていたことを踏まえ、早期の段階から、町の専門部署（地域おこし協力隊員を活用）を中心として、NPO等とも連携しながら、個別訪問や見守り相談等を行った事例。	